

第83回日本社会学会大会

一般研究報告 I～III 申込要領

2010年11月6～7日、名古屋大学

1 一般研究報告申し込みの共通事項

- (1) 申し込みは、学会ホームページからインターネット上で行えます (<http://www.gakkai.ne.jp/jss/>)。郵送でも受け付けますが、できるだけホームページをご利用ください。締切は、どちらの場合でも 6 月 21 日 (必着) です。締切日に遅れたものは、一切受け付けられません。なお、トラベルグラントに応募する場合は、かならず別紙 Call for Papers for Travel Grant をご覧ください。
- (2) 提出書類は、申込用紙、報告要旨、報告原稿の三種類あります (ポスターセッションのみ報告原稿が不要)。報告要旨は 1 ページ (1400 字程度) で、要旨集に掲載されます (見本参照)。報告原稿は 2 ページ (4000 字程度) で、大会当日の報告時にコピー50 部以上を配布します。「目的・方法」と「結果・結論」がそれぞれ明確になるよう記述してください。書式などの詳細は、以下をご覧ください。
- (3) 報告時に追加資料を配付することができます。
- (4) 一般研究報告の登壇者・報告責任者は、日本社会学会の会員にかぎります。ただし、まだ会員でない方でも、報告申し込みの前に入会申込手続きをすれば、仮入会として申し込むことができます。テーマセッションにかぎり、オーガナイザーが許可すれば、非会員でも報告できます。
- (5) 一般研究報告をするには、8 月 10 日 (プログラム確定時) までに学会費の納入が必要です。納入されていないと、報告がプログラムから削除されます。4 月 1 日現在で会員の方には、納入のご案内と振込用紙を別途 5 月中に郵送いたします。これとは別に、大会参加費を大会当日までに納入してください。
- (6) 一般研究報告の登壇者になれるのは、1 つの大会で 1 人につき 1 回です。ただし、シンポジウムとの重複報告はできません。
- (7) 1 つの報告を共同で行なう場合、プログラムには実際に登壇する方 1 名の名前だけが掲載されます。報告要旨に、共同研究者の名前を記載することはできません。
- (8) 一般研究報告 I (自由報告) と III (テーマセッション) では、パソコン用プロジェクター、ビデオ等を使用できます。ただし、施設の制約からご希望に添えない場合もあります。通常のパソコン用接続ケーブル (ミニ D-sub15 ピン端子) はご用意いたします。その他のケーブルとノートパソコンはご持参ください。

2 一般研究報告I (自由報告) への申し込み方法

- (1) 提出書類：一般研究報告I申込用紙・報告要旨・報告原稿の 3 点をセットにして、申し込んでください。
- (2) 報告時間：一部会は 120 分です。一報告の報告時間は原則として 15 分で、そのあとに質疑応答が数分あります。時間の足りない方は、ポスターセッションでの発表もご検討ください。
- (3) 英語報告：英語部会で英語報告をできます。その他の部会では日本語報告となります。英語の場合、報告要旨と報告原稿を英語で作成してください。
- (4) 同一のテーマについて連携して複数の報告を行う場合も、1 報告につき 1 セット (申込用紙・報告要旨・報告原稿の 3 点セット) を提出します。3 点セットの揃った報告しか受け付けられませんので、ご注意ください。また、申込用紙に全報告の報告者名と報告順序を記入します。
- (5) 部会の希望を、申込用紙に第3 まで記入してください。ただし、希望に沿えない場合もあります。

3 一般研究報告II (ポスターセッション) への申し込み方法

- (1) 提出書類：一般研究報告II申込用紙・報告要旨の 2 点をセットにして、申し込んでください。報告原稿は不要です。

- (2) 報告時間：ポスターセッションの開催時間は 120 分です。ポスターを掲示し、質疑応答をします。時間中は原則としてポスターの前に行ってください。
- (3) 英語報告：日本語でも英語でも報告できます。その場合、報告要旨を英語で作成してください。
- (4) ポスターの掲示スペースは、幅 90cm、高さ 120cm 程度です（A0 判が入ります）。

4 一般研究報告Ⅲ（テーマセッション）への申し込み方法

- (1) 提出書類：一般研究報告Ⅲ申込用紙・報告要旨・報告原稿の 3 点をセットにして、申し込んでください。
- (2) 報告時間：一部会は 120 分です。一報告の報告時間は原則として 15 分で、そのあとに質疑応答が数分あります。
- (3) 英語報告：コーディネーターが許可すれば、英語報告をできます。その場合は、報告要旨と報告原稿を英語で作成してください。
- (4) 申し込み後、コーディネーターが調整します。不採択またはセッション不成立の場合に、一般研究報告Ⅰ（自由報告）で報告するかどうかを、申し込み時に希望することができます。その場合は、部会の希望を、申込用紙に第 3 まで記入してください。ただし、希望に沿えない場合もあります。

5 トラベルグラント

外国人若手研究者が対象となっています。詳細は、別紙 Call for Papers for Travel Grant をご覧ください。

6 提出書類

	自由報告	ポスターセッション	テーマセッション
(1)申込用紙	○	○	○
(2)報告要旨	○	○	○
(3)報告原稿	○	不要	○
提出方法	インターネットまたは郵送	インターネットまたは郵送	インターネットまたは郵送

(1) 申込用紙

・インターネットの場合、学会ホームページ上で必要事項を記入。郵送の場合、ダウンロードして、必要事項を記入。

(2) 報告要旨（この申込用紙末尾の見本参照）

- ・インターネット経由の場合、学会ホームページへアップロード。郵送の場合、印刷して郵送。
- ・「目的・方法」と「結果・結論」がそれぞれ明確になるよう、見出しを工夫するなどして記述してください。
- ・提出された原稿は、B5判に縮小のうえ要旨集に印刷されます。図表も使用できます。
- ・ページレイアウト：A4判1ページに、余白を左右上下それぞれ20mmとして印刷。ページ番号は印刷しません。本文は一段組で一行45字×40行程度。冒頭に題目（14ポイント）、副題目（12ポイント）を中央よせ。1行あけて所属と氏名（11ポイント）を右よせ。共同研究者がいる場合は、登壇者に○をして、下に共同研究者の所属と氏名（間はタブ）。そのあと1行あけて本文（原則として11ポイント）。

(3) 報告原稿

- ・（インターネットの場合）学会ホームページへアップロード。（郵送の場合）印刷して郵送。
- ・部会編成の参考にされたり、部会の司会担当者に事前資料として送付されます。図表も使用できます。
- ・（ページレイアウト）A4判1枚に両面印刷（合計2ページ）。一段組で3000～4000字程度。おもて面の上

部に、題目・所属・氏名を記入。それ以外は自由。

- ・毎年、報告原稿を2枚以上提出される方、片面印刷で提出される方がいます。書類不備の場合は受理できませんので、1枚以内（つまり2ページ以内）に収まるように注意してください。
- ・大会当日の報告時に、コピーを50部以上配布してください。

7 提出先

- ・インターネットの場合：日本社会学会ホームページ <http://www.gakkai.ne.jp/jss/>
報告要旨と報告原稿は原則としてPDFファイルに変換してアップロードして下さい（パスワードをかけないで下さい。また白紙ページがないようご注意ください）。変換できない場合はWordファイルでアップロードしてください。ただし、Wordファイルでアップロードした場合、体裁が崩れたり、文字化けが発生する可能性があります。これらに関しては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・郵送の場合：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部社会学研究室内
日本社会学会事務局
- ・どちらも締切は6月21日です（必着、インターネットの場合は23:59までに申込を完了させて下さい）。

